

「（仮称）子どもを守る都市宣言」に係る大人へのアンケート項目（案） 【大人用】

No.	ジャンル	設問	回答方法	選択肢	狙い
1	属性	あなたの「年齢」を教えてください。	自由記述		属性把握のため
2		あなたの「性別」を教えてください。	選択	1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない	性別によって体罰等への考え方の傾向が異なることが想定されるため。 （できれば父と母それぞれに聞きたい）
3		現在、子どもの養育していますか。	選択	1. はい 2. いいえ	養育の有無によって、回答傾向が変わることが想定されるため。
4		子どもを養育されている方にお聞きします。第一子の年齢は何歳ですか。	自由記述		第一子の年齢が大きくなるにつれて、体罰等への考え方が変化する可能性があるため。
5	「子どもの権利」について	「子どもの権利」を知っていますか。	選択	1. 内容までよく知っている 2. 内容について少し知っている 3. 内容は知らないが聞いたことがある 4. 聞いたことがない	「子どもの権利」の認知度を把握するため
		「子どもの権利」の概要説明		「子どもの権利」とは	「子どもの権利」について、改めて、理解を深めた上で以降の設問に回答させるため（特に知らない人向け）
6		「子どもの権利」に当てはまると思うことをすべて選んでください。	複数選択	<ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが生まれた時から権利を持っている 性別や人種の違いなどで差別されず、すべての子どもが同じ権利を持つ 誰からも暴力（たたかれる、傷つけられるなど）を受けない（虐待、いじめ等） 学校で学ぶことができる 病院に行くことができる 遊んだり休憩したりすることができる 子どもは自由に自分の意見を表明し、大人に聞いてもらえる 	子どもと大人で認識の違いについて把握するため
	【コラム】 子どもはみんな権利を持っています。しかし、権利の使い方によっては、誰かを傷つけてしまうかもしれません。 （例）Aさんには意見を表明する権利がある →その意見は、Bさんを傷つける内容 →Bさんの「誰からも傷つけられない権利」を害するため、Aさんがそのような意見を表明することは正しくない			権利の行使には責任が伴うことを同時に認識してもらい、権利の濫用につながらないようにするため	
	子どもの権利の侵害（体罰等の実態）	「体罰等」の説明			「体罰等」の定義を明確にすることで、回答者の認識を統一し、調査の信頼性を高めるため
7		しつけのために、子どもに体罰等をするに対してどのように考えますか。	選択	1. 積極的にすべきである 2. 必要に応じてすべきである 3. 他に手段がないと思ったときのみすべきである 4. 決してすべきではない	体罰に対する意識を調査するため
8		前設問において、1～3を選択した方にお伺いします。なぜ、しつけのために、子どもに体罰等をするべきだと思いますか。	選択	1. その場ですぐに問題行動をやめさせるため 2. 大人の威厳を示すため 3. 痛みを伴う方が、子どもが理解すると思うから 4. 口で言うだけでは子どもが理解しないから 5. 体罰以外に子どもをしつける方法がわからないから 6. その他（ ）	
9		あなたの日常において、次のようなことはありますか。			
-1		子どもの言動に対してイライラする	選択	1. 日常的にあった 2. 時々あった 3. まれにあった 4. 全くなかった	
-2		孤独を感じる	選択	1. 日常的にあった 2. 時々あった 3. まれにあった 4. 全くなかった	
-3		育児、家事、仕事の両立が難しいと感じる	選択	1. 日常的にあった 2. 時々あった 3. まれにあった 4. 全くなかった	
-4		家に引きこもり、子どもを連れての外出が難しい	選択	1. 日常的にあった 2. 時々あった 3. まれにあった 4. 全くなかった	
-5		家庭内で助け合って子育てをしている	選択	1. 日常的にあった 2. 時々あった 3. まれにあった 4. 全くなかった	
×		子育てについて家族で話し合う	選択	1. 日常的にあった 2. 時々あった 3. まれにあった 4. 全くなかった	
-6		子育てについて、相談できる人や場所がある。	選択	1. 日常的にあった 2. 時々あった 3. まれにあった 4. 全くなかった	
10	子どもの意見を聴くことについてどのように考えますか。	選択	1. 子どもの意見を聴き、それに基づいて子どもにとって最もよいことを子どもと一緒に判断すべきである 2. 子どもの意見を聴き、尊重することは大切だが、状況によってはそれができない場合があるのかもしれない 3. 子どもの意見を聴くこともあっていいが、最終的に大人の判断に従うべきである 4. 子どもは未熟なため、子どもの意見を聴く必要はない 5. その他【自由記述】	子どもの意見表明に対する大人の意識を調査することで、大人への啓発活動の重要性等を把握するため	
11	次の事柄を決める時などに、子どもが、自分の意見を言ったり、参加したりすることについてどのように思いますか。			特定の分野に応じて、大人の意識に変化があるか把握し、啓発活動に生かすため	

-1	参加する権利	①家庭で大事な事やルールを決める時に意見を言うこと	選択	1. 言うべき・参加すべき 2. どちらかと言えば言うべき・参加すべき 3. どちらかと言えば言うべきではない・参加すべきではない 4. 言うべきではない・参加すべきではない	
-2		②学校の行事や部活動の企画運営に参加すること	選択	1. 言うべき・参加すべき 2. どちらかと言えば言うべき・参加すべき 3. どちらかと言えば言うべきではない・参加すべきではない 4. 言うべきではない・参加すべきではない	
-3		③学校の決まりごとについて意見を言うこと	選択	1. 言うべき・参加すべき 2. どちらかと言えば言うべき・参加すべき 3. どちらかと言えば言うべきではない・参加すべきではない 4. 言うべきではない・参加すべきではない	
-4		④地域の行事の企画運営に参加すること	選択	1. 言うべき・参加すべき 2. どちらかと言えば言うべき・参加すべき 3. どちらかと言えば言うべきではない・参加すべきではない 4. 言うべきではない・参加すべきではない	
-5		⑤宇都宮市政に意見を言うこと	選択	1. 言うべき・参加すべき 2. どちらかと言えば言うべき・参加すべき 3. どちらかと言えば言うべきではない・参加すべきではない 4. 言うべきではない・参加すべきではない	
12		「子どもの権利」を実現するために、どのような取組を行う必要があると思いますか。	複数選択	1. 子どもに対する周知 2. 保護者に対する周知、啓発 3. 子どもの自己肯定感を高める取組の充実 4. 学校教育の充実 5. 子どもたちの居場所の充実 6. 相談できる場の充実 7. 子どもが意見を言える機会の確保 8. 子どもの意見を聞く（知る）機会の確保 9. 地域の理解や取組の充実 10. 家庭、学校、企業、地域などの連携	
13		「子どもの権利」を実現するために、子どもを取り巻く家庭や地域、企業など地域社会全体としてどうあるべきだと思いますか。	自由記述		